記者発表資料

平成２５年　９月１２日
東北地方整備局

「東日本大震災の被災地で適用する積算標準」の策定について

～ダンプ不足、コンクリート不足を要因とする被災３県の積算基準の策定～

公共工事の積算では、標準的な工事価格が算定できるよう実態調査を行い、その結果を反映した各種積算基準を整備しています。

東日本大震災の被災３県（岩手県、宮城県、福島県）では、早期復興に向け大規模な復旧・復興事業が推進されておりますが、工事量の増大による資材やダンプトラック等の不足で、標準積算基準と施工実態との間で、乖離（日当り作業量の低下）が生じていたことから、被災３県用の現場状況を反映した専用の積算基準を新たに策定し、平成２５年１０月１日以降に入札する工事から適用することとします。

【策定の内容】

①．歩掛（復興歩掛）

土木工事標準歩掛は、土木請負工事費の積算に用いる標準的な施工条件における単位施工量当り若しくは日当りの労務工数、材料数量、機械運転時間等の所要量（歩掛）について工種ごとにとりまとめたものです。

今回、「土工」及び「コンクリート工」において、日当り作業量の低下を確認したため、関係する３２工種について、東日本大震災の被災３県専用の歩掛を策定しました。

（別紙－１参照）

②．施工パッケージ単価（復興パッケージ単価）

施工パッケージ型積算方式とは、直接工事費について施工単位毎に機械経費、労務費、材料費を含んだ施工パッケージ単価を設定し、積算する方式で、平成25年10月1日より146の施工パッケージ単価を拡充し、全209パッケージ単価で運用することとしています。

今回、上記の要因に関わる３２パッケージについて、東日本大震災の被災３県専用の単価を策定しました。「東日本大震災の被災地で適用する施工パッケージ型積算方式標準単価表」として、国土技術政策総合研究所ＨＰに掲載しています。

（http://www.nilim.go.jp/lab/pbg/theme/theme2/theme_sekop.htm）

＜発表記者会：岩手県政記者クラブ、宮城県政記者会、福島県政記者クラブ、東北電力記者会、東北専門記者会＞

問　い　合　わ　せ　先	
国土交通省　東北地方整備局	０２２－２２５－２１７１（代）
企画部　技術調整管理官	加藤（かとう）　信　行（内線3115）
技術管理課長	永井（ながい）　浩　泰（内線3311）

別紙－1　東日本大震災の被災地で適用する土木工事標準歩掛

国土交通省

概　要

○東日本大震災の被災3県（岩手県、宮城県、福島県）では、早期復興に向け大規模な復旧・復興事業が推進されており、工事量の増大による資材調達不足等で、標準歩掛と施工実態とに乖離（日当り作業量の低下）が生じている

↓

○このため、被災3県（岩手県、宮城県、福島県）における施工実態の調査を実施

↓

○調査の結果、「土工」及び「コンクリート工」において、日当り作業量の低下を確認したため、関係する32工種について、標準歩掛の日当たり作業量を補正した復興歩掛を策定

※本歩掛は、平成25年10月1日以降に入札する工事から適用

◆日当り作業量の補正内容

①土工（掘削積込～土の敷均し・締固めまでの一連作業）【3工種】

・ダンプトラック不足等による日当り作業量の低下を確認
→日当り作業量を10%補正

②コンクリート工【29工種】

・セメント供給不足等による日当り作業量の低下を確認
→無筋・鉄筋構造物、擁壁工などCo打設を伴う工種で日当り作業量を10%補正

※詳細は（http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/constplan/sosei_constplan_tk_000024.html）

1. 土工関連工種　概要

国土交通省

作業内容

・道路工事や河川工事で行われる、バックホウによる土砂の掘削積み込み及びダンプトラックで運搬された土砂の、敷均し締固めまでの一連の土工作業。

施工フロー

機械搬入 → 掘削作業 → 積込作業 → 運搬作業 → 敷均し作業 → 締固め作業 → 機械搬出



バックホウによる掘削積込作業



ダンプトラックによる排出作業



ブルドーザによる敷均し、タイヤローラによる締固め作業

日当り施工量の補正対象としているのは、□部分のみである。

対象工種

下記に示す3工種が対象。

番号	工種名
1	機械土工（土砂・超ロングアームバックホウ土工）
2	土の敷均し締固め工
3	土工(砂防)

補正内容

被災3県における土工作業について、ダンプトラック不足等を要因とした、日当り作業量の低下が確認されたため、一連の作業について**日当り作業量を10%低減**させる。

2. コンクリート工関連工種　概要

国土交通省

作業内容

・土木構造物の施工にかかる、
コンクリート打設作業全般。

施工フロー

打設準備 → 打設 → 締固め → 表面仕上 → 養生


Co打設


締固め


養生

日当り施工量の補正対象としているのは、□部分のみである。

対象工種

下記に示す、29工種が対象。

番号	工種名
1	コンクリート法枠工
2	コンクリートブロック積工
3	コンクリートブロック張工
4	緑化ブロック積工
5	現場打擁壁工
6	排水構造物工
7	発泡スチロールを用いた超軽量盛土工
8	函渠工（構造物単位）
9	鋼管矢板基礎工
10	コンクリートエ
11	消波根固めブロックエ
12	消 波 工
13	護岸基礎ブロックエ
14	コンクリートエ（砂防）
15	コンクリート舗装工
16	ローラ転圧コンクリート舗装工（RCCP工）
17	橋梁補強工
18	橋梁地覆補修工
19	共同溝工
20	橋台・橋脚工
21	鋼橋床版工
22	ポストテンション桁製作工
23	PC橋架設工
24	ポストテンション場所打ホロースラブ橋工
25	ポストテンション場所打箱桁橋工
26	RC場所打ホロースラブ橋工
27	PC橋片持架設工
28	石積（張）工
29	プレビーム桁製作工（現場）

補正内容

被災3県におけるｺﾝｸﾘｰﾄ打設作業について、ｺﾝｸﾘｰﾄ供給不足等を要因とした、日当り作業量の低下が確認されたため、一連の作業について**日当り作業量を10%低減**させる。